

## タイで南紀みかん販促

三重・JA 伊勢 輸出拡大へ4年ぶり

【三重・伊勢】JA 伊勢は、三重南紀産かんきつの安定的な輸出と販路拡大に向け、タイ王国でトップセールスを行った。役職員6人が現地を訪問。店頭での試食販売などを通



タイ王国を訪問し三重南紀みかんをPRする役職員

じ、消費者にアピールした。同国内での評価を聞き取り、農業局への訪問も行った。

同国への三重南紀産かんきつの輸出は2011年、生産者の所得向上を目的に始まっ

た。本年度は11、12月の計3回、温州ミカンと合わせて16トンを輸出。現地での販売は12月上旬から始まっている。

現地での販促活動は、新型コロナウイルスの影響で鈍っていた経済活動が戻りつつあること

を受けて4年ぶりに再開した。

役職員は、首都バンコクにある高級量販店や日系の総合ディスカウントストアなどの売り場を視察。同国を代表する大型小売店を160店舗展開するセントラルグループのセントラルプラザ・ラットプラオ店では、試食販売を行い、食味の良さを消費者に訴えた。同グループでは47店舗で三重南紀産の早生温州ミカンを扱う。食味、外観の良さから現地での評判は上々だという。青果販売や輸入品の担当者と懇談し、着荷状況の確認や販売価格、現地での評判などを確認した。

タイ国農業協同組合省農業局では、かんきつ類の輸入規制緩和へのお礼と柔軟な対応への要望を伝えた。

同JAの坂口正明営業担当常務は「三重南紀みかんを楽しみにしてくれている消費者は多い。期待に応えるためにも今後も高品質なかんきつを輸出し続けていきたい」と話した。

た。同JAは2月にも「せとか」と「デコポン」の輸出を予定する。現地へ到着予定の3月には、本年度2回目の現地での販売プロモーション活動を行う。

東海

情報提供は支所またはJA中央会へ

中部支所

〒460-0003  
名古屋市中区錦3-3  
-8 JAあいちビ